

江北の四季

令和2年

7月25日

第17号



サルスベリ
が咲き誇って
きました。赤
い花は灼熱の
太陽と競い、
白い花は入道
雲と競い合っ
ているような
景色です。



同じ咲き誇
る姿でも楚々
とした佇まい
をしているの
がムクゲです。一枝を細めの壺に入れるだけで、
暑い夏を心豊かに過ごせます。



ムクゲ

○大暑、第三十四候、初候、桐始結花(きり
はじめてはなをむすぶ)。

大暑、この文字を見ているだけで汗が出
てきそうですが、現在の夏はこの言葉では
言い表せないですね。酷暑、猛暑、極暑、
激暑、炎暑、劇暑、烈暑、甚暑、嚴暑……
…これくらいの文字が必要ですね。

私が子供の頃はあちこちで桐の木が植え
られているのを見ましたが、最近は見なく
なりました。我が家にも桐の木は無いです
が、桐の花は財布の中で時々見かけます。
日本の国章は菊の花ですが、日本政府の紋
章は五七の桐ですね。で、日本政府発行の
五百円硬貨には桐の花が描かれています。

桐の木は、四月から五月頃に木の上部で、
上向き房状に藤色の花を咲かせます。そし

て大暑の頃に緑色の実をつけます。花を結
ぶとは実をつけるという意味らしいです。
また、この大暑の頃に花の蕾をつけ、それ
が翌年の花につながるからという説もあり
ます。花を結ぶことを始めるのですから、
後者の説に分があるように思います。



ヒオウギ(桧扇)

昔は女の子が生まれると桐の苗木を植
え、嫁入りのときに伐採して桐箆笥や長持
ちをつくったと言われますが、私の姉が嫁
いだときには家具屋から買いましたので真
偽のほどは分かりません。桐の木は成長が
早く二十年たつまでに伐採でき、材は狂い
にくく火に強いので、箆笥や掛け軸などの
高級品を入れるのに使われているよう
です。



アサガオ

桧扇や朝顔が咲き出しました。



センニチコウ
(千日紅)

百日紅と書くサルスベリのこと、夏の間三ヶ月くらいは咲き続けることから来っていますが、千日紅とはよくもまあ厚かましくもつけた名前です。名前の由来は、花のように見える球の部分は苞と呼ばれる葉の集まりで、色が褪せにくくドライにしても花色が長く残るからだそうです。



カマキリ(螳螂)

バラの虫取りをしていたら、体長3cmくらいのカマキリがケシ粒ほどのバラゾウムシをとって食べているところでした。すぐにカメラをとりに行きましたが、食べた後になってしまいました。やっとカマキリも私のお手伝いができるようになりました。

○数日前から我が家の庭でも蝉が鳴き始めました。この声を聴くと夏が来たなあと思います。この時期、本来なら子供たちの夏休みが始まるのですが、学校はまだまだ続くようです。

風鈴を二つ玄関の軒先につるしました。一つは南部鉄器の風鈴で、この「リーン」と言う音色は「残したい日本の音百選」に選ばれているようです。もう一つの風鈴は富山高岡の仏具メーカーがつくったもので、高くて柔らかい音色を奏でてくれます。どちらもそれぞれに風情があり、冷房のため閉め切っているのに涼しげな音を届けてくれます。昔の人はいいものを発明してくれたものです。



ドリチヨスラ(ラブルビーム)

ドリチヨスラ(ラブルビーム)が咲き出しました。名前に惚れて育てているツルマメです。



メドーセージ(サルビアガラニチカ) 香りがよく虫除けにもなるハーブ



ブルーベリー

ジャム用に採集される前に、庭仕事の合間に口の中へ。酸味が疲れを癒してくれる。

○またまたネジバナ

この通信を読んでくださっている、元国語の先生のKさんから、古典でも「もじずり」という言葉が出てきますねと、教えていただきました。

「陸奥（みちのく）のしのぶもぢずり誰（たれ）ゆゑに 乱れそめにしわれならなくに 河原左大臣 小倉百人一首」

（陸奥で織られるしのぶもぢずりの摺（す）り衣の模様のように、乱れる私の心。いたい誰のせいでしょう。私のせいではないのに：あなたのせいですよ：）

文字摺は染色技法の一つで、もじれて乱れたような模様だそうです。恋に心乱れる様を染織模様を重ねたのでしょうね。いつの頃からか、ネジバナの花もねじれて咲くので、別名がもじずりとなったようです。

ネジバナの花言葉は「思慕」（しぼ）。恋い焦がれる気持ちを小さくねじれて咲くネジバナに重ねているのでしょうね。ねじばなや文字摺草は夏の季語です。

夏、信州のスキー場（高原）に行くと草の中に多くのネジバナが見られます。ネジバナは種でも株分けでも増えますが、他の草

花と一緒に植えておく方がうまく育つようです。本来雑草ですからね。



カリガネソウ

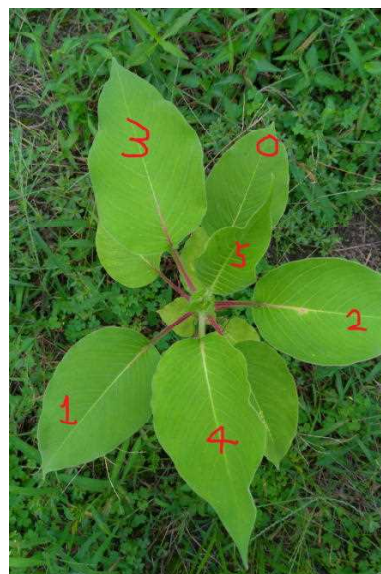
飛び出した雄しべと花の形が雁に似ていることからカリガネソウ（雁草、雁金草）と呼ばれます。別名はホカケソウ（帆掛草）。涼しげな風情で独特の匂いがします。種でも根でも増え、毎年同じところに顔を出してくれます。

○蔓の螺旋、文字摺草の螺旋、そして今回は葉の螺旋

日頃は花ばかり見て茎についている葉には余り関心を持ちませんが、よく見ると茎の周りにつく葉も螺旋をとるものが多いですね。

茎を挟むように葉のつく対生や一つの節に三枚以上の葉のつく輪生には見られませんが、一つの節に一枚の葉がつく互生の植物にはほとんどのものに螺旋が見られます。

螺旋が前の葉から次の葉までに茎の周りをどれくらい回るかおおよそ決まっているようです。庭にあるものを見てみたところ、ほとんどのものは次の葉までに茎を2/5周（ $360^\circ \times 2/5 = 144^\circ$ ）します。写真のように、葉に下から番号を振ると、5番の葉は茎をちょうど1周して0番の葉の上に来ます。

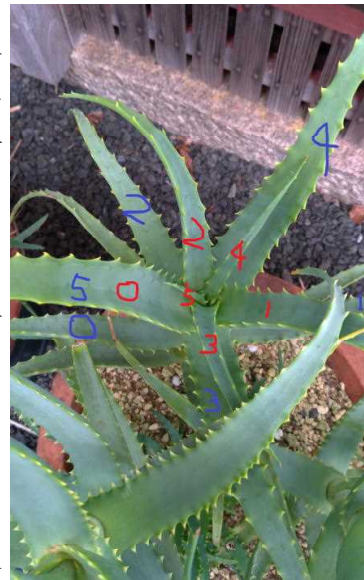


オオケタデ（大毛蓼）



アカバナソバ（赤花蕎）

このような葉の付き方を「2/5葉序」と呼ぶようです。右巻きも左巻きもあるようです。鉢植えのアロエも同じようです。葉が五枚ごとに重なってきます。



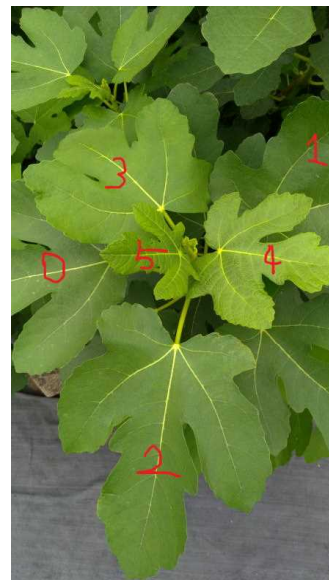
キダチアロエ

八年前人間ドックに入ったときに、胃や食道が少しだれていと言われてから、キダチアロエを何鉢も育てています。胃腸病や、切り傷、火傷、ひび割れに薬効があり、「医者いらず」といわれているからです。朝、空っぽの胃に生葉を一枚よく噛んで飲み込んでいます。数年に一度胃カメラを飲んでいますが、お陰で健康に生きています。畑の方も見てみました。



オクラ

面白くなって木も見てみるところ、イチジクははっきりと螺旋がありました。柿の木の先端も見ようと思いましたが、螺旋を見る前にイラガを見つけてしまい、ギブアップです。



イチジク(無花果)

畑に戻ると、キャベツをとった後の根元に小さな葉が出ていました。



キャベツ

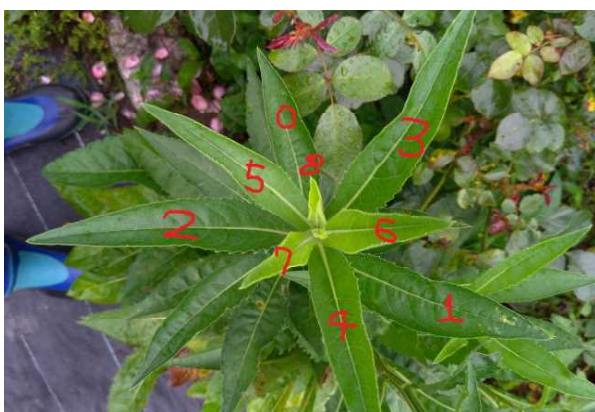
葉が大きくて見やすいものは、2/5葉序が多いようです。



キャベツの玉を下から見る

夕べはお好み焼きでした。食事中に気がついて、葉がとられた後ですが、写真を撮りました。葉五枚で二周するので五角形の姿を残しています。

ウェブで調べてみると、2/8葉序や5/13葉序もあるようです。庭を探してみました。



シオン(紫苑)

紫苑の花茎は ∞/∞ 葉序のようです。



ユリの花茎

ユリは $5/13$ 葉序のように見えます。セ
イタカアワダチソウも $5/13$ 葉序のよう
ですが、どちらも数える内に分からなくなっ
てきます。

硬い話になってしまいすみません。理科
教師としての虫が騒ぎ出してしまいました。
もう少し付き合ってください。

数学で学ぶ数列の中に「フィボナッチ数
列」というのがあります。

1, 1, 2, 3, 5, 8, 13, 21, 34, 55, ……
前の二つの項の和となるような数列です。

$1, 0+1=1, 1+1=2, 1+2=3, 2+3=5, 3+5=8, ……$

葉序の分子分母はこの数列になっている
ということです。

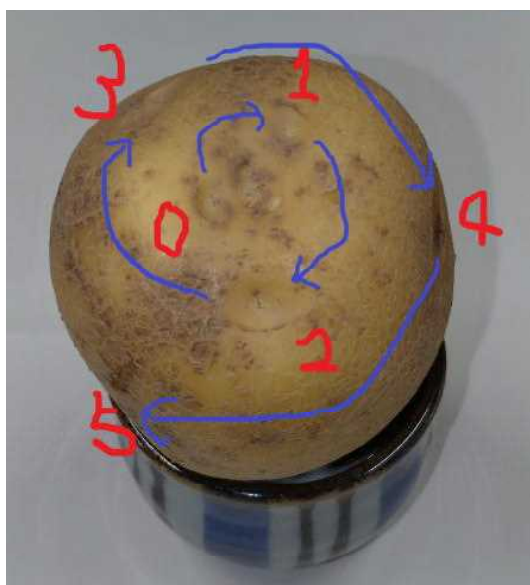
では $1/2$ 葉序や $1/3$ 葉序もあるのでしょ
うか。



ホトトギス

ホトトギスは葉が二枚で一周しています
から、 $1/2$ 葉序と言っているかと思いま
す。

葉が三枚で一周するのを探してみました
が残念ながら分かりませんでした。



ジャガイモ

今年とったジャガイモです。ジャガイモ
は茎ですから、芽(くぼんだところ)があり

ますね。くぼんだところを順につなぐと
 ∞/∞ 葉序が出てきました。思わず嬉しくな
ります。

松ぼっくりやパイナップルのブツブツも
螺旋になるようです。小学生の児童さんや
孫をお持ちの方は、ぜひ夏休みの自由研究
のテーマに誘ってみてください。フィボナ
ッチ数列が出たときの感動はきっと忘れな
いと思います。理科好きの少年少女が増え
てほしいものです。



オミナエシ(女郎花)



バーベナハスタータ
ホワイトスピアーズ

